

## 各担当課による説明・審議でいただいたご意見について

第2回委員会から第5回委員会にかけて、市政改革プランの各柱の主要な担当課による説明と審議を行ってきましたが、そこでいただいたご意見をまとめて委員会の活動報告書に盛り込みたいと考えています。

### 各担当課の説明でいただいた主要なご意見

---

#### 第2回委員会より

##### 【行財政改革課】

- ・市の歳出のところで義務的経費をなかなか減らせないということだが、今後デジタル化が進めばサービスにかかる職員の負担が減るのではないか。
- ・限られたお金をどうやって効率的に使うか。使用料・手数料など市民に負担してもらうところのバランスや説明責任もあるし、補助金を減らしていくとなれば、どういう評価をして適切に増やす、あるいは削っていくのかにもつながってくる。実施にあたっては工夫や市民が相手であるため不公平感が起きないようにしないといけない。
- ・お金のこともあるが、何かしたいと思っている地域に担い手がないという問題がある。鳥取市で一括りにしてしまうと見えない深刻な実態や問題もあるので、そういう感覚や視点をぜひ市の方にも持っていただきたい。
- ・地域あるいは年代を区切ってデータを取りながら各地域にあわせたサービスや施策ができれば、住みやすく公的なサービスが充実したまちづくりが実現できるのでは。ただでさえ人口が少ない鳥取市なので、担ってくれる人材がいるのかという感覚も必要。

#### 第3回委員会より

##### 【職員課】

- ・女性活躍のところで、優秀な女性職員の方にどんどんポストを採用していただいたらと思うが、女性割合の目標数値を事前に決めることのメリットもあればデメリットもあると思う。
- ・障がい者雇用について、正採用されれば長く働けるし、安心してスキルも積める。正採用の方が割合が多いということで安心した。
- ・女性活躍について、数値目標も掲げられて何年度までに何%まで行かないといけないというのが、女性職員にとってはかえって自分なりのペースでのスキルアップや昇進を阻害されたり、プレッシャーを感じたりするのではないか。

- ・フレックスタイム制度の導入について、出勤時間を分散させることでJRやバス利用が分散できるのではないかということだったが、駅前の企業等からJRやバスの利用者が本当に少ないという話をよく聞く。また、庁舎移転で旧本庁舎周辺の月極駐車場がとても空いたという話を聞くので、皆さんがマイカー通勤だったのだろうと思った。
- ・育児休暇に関して、一年取得する方もいるというのは素晴らしいと思う。取得日数の問題もあると思うので、しっかりと休暇を取れる体制を作っただけだと、女性活躍の面でも効果的ではないかと思う。
- ・メンタル休職者の削減と、ハラスメント対策の徹底について、労働相談として、年々ハラスメントに関する相談が増えてきている。ハラスメントの原因は管理職に限らず、同僚や部下からもある。研修が防止委員で止まってしまうのか、そこから広がっていくのかということが気になった。
- ・ハラスメント研修に関して、県内の公務員の研修状況を見ると、ハラスメント関係は新任課長が対象となっている。項目をざっと見ただけだが、ハラスメントの研修というのはそんなに幅広くはやっていないという印象を受けた。

#### 【協働推進課】

- ・若者の参加促進について、こういう大学生と子どもの交流はなかなかない機会なので継続できればと思う。
- ・まちづくり協議会に関して、公民館の方から、いろいろやりたいことはあるが、まちづくり協議会の事務局にもなっており、とても事務負担が多くて忙しいという話を聞いた。地域で暮らす人たちを巻き込んで一緒にできたらいいと思う。
- ・また、まちづくりに参加する若手をもっと増やしていきたいが、公民館の事務作業がとても多いから情報発信まで手が回らないという話を聞いたので、その部分でも支援ができればいいのではないか。
- ・若者の参画促進について、大学生が参画しているということだが、例えば市街地の空き家になった店舗などは、数人で借りてシェアしているいろいろなことを企画したり、そういう舞台にできる場所だと思っている。積極的にそういうことをすると面白いと思う。
- ・若者の参画促進について、良い取り組みだなと思って見させてもらった。とっとり麒麟地域活性化プラットフォームでの新たな広がりを期待したいと思う。

- ・公民館は社会教育法上に位置付けられる教育機関であり、理想としては生涯学習によるまちづくりとコミュニティによるまちづくりがバランスの取れた状態になればいいと思うが、一括交付金の制度になった時に教育の部分が薄くなってしまわないかということが懸念される。
- ・マンションやアパートに住んでおられる方で町内会に入っておられる方は少ないのではないかと想像するが、防災の面から見ても町内会は必要だろうと思う。難しい問題で、今後加入率を上げていくのにどうされるのかがとても気になっている。町内会の加入率が高まるといいと思う。

#### 第4回委員会より

##### 【情報政策課】

- ・オープンデータを活用した官民協働による社会課題解決というのは、やっていく必要があると思っている。先ほどの事例紹介で、保育園の情報やバスの運行状況が活用されているということは分かったが、このデータをどんな人が見ているのかが分かるというのでは。
- ・オープンデータについて、ホームページに載っているものは活用を、という話だったが、日本の役所は基本的にホームページに載るまでが敷居が高く、まだ載っていないものもたくさんあるのではないかと思う。

##### 【資産活用推進課】

- ・ふるさと納税は、自治体が財源を確保できるほか、返礼品の納入事業者にとっても寄付される方へ直接商品をお届けできる場所として魅力的な市場だと思う。
- ・最終的な寄附を増やすには、品物が良くないといけないということもあるし、鳥取のファンになってもらうことが大事。寄附したお金が何に使われているのかといったPRをうまくしながら、本当のファンを増やしていくための方策を何か考えられたらよい。
- ・ふるさと納税は、寄附する方がその用途を選ぶことができるが、そのために鳥取市として使い勝手が悪くなってしまっている部分もあるのではないか。例えばその寄附の用途も、市が現在力を入れている項目やコロナについての項目が時事的に出てきてもいいと思うし、場合によってはフリーハンドで寄附ができてもいいのではと思った。
- ・施設の複合化について、29ページの図に学校が挙げられているが、学校の統廃合や校区再編の話も出ている。廃校の利活用といったこともあるが、どう複合化していくのか。